

2025年6月2日

各 位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2025年 5月度 売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店	85.1
阪神梅田本店	102.8
支店計	95.5
全店計	90.1

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、月次の売上速報および営業概況につきましては、当該基準等適用前の取扱高で開示しております。

○ 全店の概況

- ・ 免税売上高が、単月においてピークを迎えた前年の反動と、継続する円高傾向により、前年に対して約4割減と3・4月に続き苦戦。それに伴い阪神梅田本店を除く都心店の売上高は前年を下回った。一方、食品の売上が堅調に推移する郊外店の売上高は前年を上回った。全店合計の国内客売上高も前年を上回り堅調。
- ・ 5月21日に、阪神梅田本店の2階から8階がリニューアルオープン。大型専門店の導入もきっかけに若いお客様の来店が増加。催し会場の再開もあり、リニューアル以降、前年の売上高に対して約2割増と好調に推移し、月間の実績も上回った。
- ・ 5月16日、川西阪急が「川西阪急スクエア」としてリモデルオープン。百貨店と専門店のベストミックスによる郊外型百貨店の新しいモデルを目指す。従来の客層に加え、週末には子育てファミリーの来店も多く、リニューアル以降、前年の売上高に対して約2割増と好調に推移し、月間の実績も上回った。

○ 阪急本店の概況

- ・ 前年に大きく高伸した免税売上高が約4割減と、特にモードやインターナショナルファッション、バッグへの影響が大きく店全体として前年売上高を下回った。一方、引き続きブライダルニーズが高いアクセサリが好調に推移するなど、国内客の売上高は前年を上回り同月として過去最高を更新。また、ひと足早くリニューアルした4階の婦人衣料は、客層の幅が拡大し前年売上高を上回った。
- ・ 母の日ギフトでは、前年に動きの見られた高額品が不調で、機能性のある1万円以下の帽子などが人気。当日は食品において惣菜やケーキ、生和菓子の売上が好調で、外食よりもご自宅で過ごされる方が多く見受けられた。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2024年度											2025年度	
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
阪急本店	146.1	137.7	120.3	115.5	113.1	108.1	113.8	113.5	112.3	103.8	96.4	92.2	85.1
阪神梅田本店	108.8	109.2	105.3	109.5	81.5	106.9	79.2	109.4	90.6	92.4	92.1	95.4	102.8
支店計	112.0	116.7	107.5	105.3	105.1	100.5	103.8	101.7	101.3	98.0	97.7	95.2	95.5
全店計	129.1	127.1	114.1	111.1	105.8	105.2	105.8	108.7	106.0	100.6	96.4	93.5	90.1

■ 食品事業

食品スーパー計	売上高前年比(%)
既存店 計	103.4

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL:06-6367-3181